



わかもの

第
112
号
2005
平成17年 6月発行



▲子ども文化が地域の文化をつくり出している神島地区

INDEX

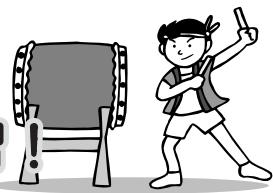
- 02** 牛に引かれて善光寺参り…?
子どもに魅かれて太鼓の練習！
- 04** 西川和也さんインタビュー
「学んだことが仕事に活きる手ごたえ」
と「後継者育成」
- 06** 全日本青少年育成アドバイザー連合会
石垣研究集会に参加して

- 07** 第27回少年の主張三重県大会
作品募集中！
三重県青少年育成県民交流会開催
MAPみえこどもの城インフォメーション
編集後記

〈編集発行〉
(財)三重こどもわかもの育成財団
〒515-0054 三重県松阪市立野町1291
中部台運動公園内
TEL : 0598-22-4911
FAX : 0598-23-7792
URL : <http://www.mie-cc.or.jp>

牛に引かれて善光寺参り…?

子どもに魅かれて太鼓の練習!



鳥羽市神島は周囲4キロで約500人が住む島です。小学校の音楽室から太鼓を利用した子どもの元気発信の教育実践は、幼児からお年寄りまで島民皆さんの元気の源です。神島自慢の一つへと成長しました。

Q

全校生徒23人の児童が、大規模校との学校交流や東京の大ホールで堂々と太鼓を演奏する姿に大人は驚いたそうですね。今では子ども達の影響で、おじちゃん達の「どんどこ」、おばちゃん達の「はまゆう太鼓」が誕生し、太鼓を演奏しない人達も含めて太鼓が島の共通の話題になっている様子。子ども達と大人の交流の状況をお話ください。



女性1：子どもが5年生の時に音楽の時間に「表現」っていう活動で太鼓の練習が始まって、今までに無い程、目を輝かして夢中になった。最初の発表会は老人会で演奏したのね。皆が涙を浮べる程に喜ばれてね。それからも子どもの演奏は皆が楽しみにして、私も女同士で太鼓をしてみようか、ということで太鼓を始めた。

女性2：私は太鼓をしているけれど、子どもはいない…でも、子どもの演奏を聴いたり、演歌の番組なんかで聴いていたので、太鼓チームを作る話が出たときに入れてもらったの。

女性3：太鼓の練習が無い日でも主人は「今日は太鼓はないんか」みたいに。今日もここへ来るのに「7時半になってるよっ」て言ってくれた。

女性4：当初はね筋肉痛。少しずつ苦にならなくなるけど、子どもって平気な顔でどんどん進む。子どもはすごいなって。そんな感想をいつも子どもへ話す。

女性3：^{ぱち}子どもの上達はすごいなと思う。撥さばきが違うなって、音に勢いがあるのね。ついどの子にでも言ってしまうわ。

女性2：演奏を聴くたびに子どもの色々な知恵を感じるので楽しみ。「上手になったね」って声をかけてしまうね。

女性4：学校から帰ってくる時でも、太鼓を口ずさんで、「ドンドコドコドコ」とか言って歩いてさ。

女性5：よう聞くもんな。

女性2：1年生から6年生が一緒に演奏、年齢もいろいろでいいんじゃないかな。

女性6：学校全体でするから、上の子から教えてもらったりするのも、やっぱりいいんかな。

女性5：学校の太鼓は子ども達が創る創作音楽で、子どもの表現力を高めるための手段として和太鼓があるって先生が言うのね。その創作の元になるものが地域の産業の漁業であったりとか、景色であったり自然であったりで、地域の私等へ昔の生活とか聞き取りに来るのは、その曲を作るためらしい。一緒に漁に出させてもらったりしているって話もあるし。「はまゆう太鼓」が楽譜通りに練習するのとは違う違う。

女性2：ゲストティーチャーって言うことで、時間の都合のつく者が小学校へ私等の曲を教えに行くけど、行ってる者が皆揃って「覚えるのが早い」「すぐ上手になる」って話しになる。

女性6：子どもの太鼓は島のみんなの話題になる訳よ。

男 性：島だけの話で収まってないぜ。インターネットで神島小学校へアクセスが多いのでも判る。

Q 男性の太鼓チーム「どんどこ」はいかがですか。

女性1：主人が最初はしたいって学校の音楽教室へ行ったんですよ。でも漁師は朝が早いので無理、ということで、応援は熱心ですよ。

女性3：音楽室の練習は夜だから参加できないのだけど、あんなもの（楽譜）は見えへんて言って太鼓はしない。遠くで聴いて今日の太鼓は良かったとか、音がズれてるとこがあったとか、感想を言うのはちょっとちゅう。

Q 「どんどこ」の会長さんとしては

男 性：太鼓の一応、会長って名前だけなもんで、なかなか指導者を作るのは難しい。だいたい、うち練習の時は緊張感が無い。発表会終わったらまた練習で、それは判ってるけど「どんどこ」は練習はさっさと切り上げて、飲んだりしゃべったりが中心で社交の場かね。メンバーに入って貰おうと思って、島に戻ってきた〇〇ちゃんとしゃべっとるんやよ。仲良くしとるんよ。



女性6：誘わな。

男 性：命令すな。

女性1：いとこ同士の小学生が張り合ってる。

男 性：う~ん、張り合うっての子どもの成長が早くなるんや。家の子どもと一緒に練習すると最悪ですよ、かあちゃんは締太鼓で、俺だけ締太鼓やらへんから中太鼓で、子ども等は中太鼓もやる。みんな楽器ごとのリズムが判ってる。俺が中太鼓やると「違う違う、大事なんは締太鼓」「お父さん、これいくつかわかる？120や」とか。かあちゃんも子どもらと一緒に俺を馬鹿にする。だけど、子ども等が叩くと、町が賑やかになるっていうか、大人ではあんまりパッとしてない。何でかなあ。やっぱり神島では太鼓っていうのは子どもがメインみたいだもんね。

女性2：子ども達と同じ曲で練習してましてね、私は「あそこできた？」とか「負けやんとこ」みたいな密かな気持ちがあるのね。子どもの方は「教えて、教えて」と自信が無い時には素直に聞いてくる。何だか子ども達が横に寄り添って来る感じ。△△さんだから安心ってとこかなあ。

男 性：誰がリーダーだからというのと違って、学校へゲストティーチャーで気楽に呼んでもらったりして、子どもと一緒に叩いていると、太鼓の仲間って意識が深まる。連帯感やね。心の繋がりかね。



2000年に神島小学校へ着任した野垣内 宗先生は「神島ならではの“子ども文化”を創出したい」と、秘かに思い続けていました。その内容は、子どもが自ら創り出す《学校文化》は地域教育の一つであり、常に地域と一体であり、《地域文化》の一つになりたい、という構想でした。子どもの表現活動は根付きました。これから成長が楽しみです。今は、音楽室が「太鼓」をキーワードに島民のココロの居場所になりました。

(文責：中西智子)

「学んだことが仕事に活きる手ごたえ」 と「後継者育成」



定職につかないフリーター、働く意欲の無いニートが社会問題となっています。「第40回全国左官技能競技大会」で日本一に輝いた西川和也さんにお話を伺いました。日本一の名誉は、中学卒業後に自分の資質を考えて自己実現に本腰を入れた結果です。そういえば、村上龍著『13歳のハローワーク』(幻冬舎)は、好きな仕事をすることがハッピー、という主張のある本です。発売2ヶ月で43万部を突破したというニュースと西川さんのお話が重なりました。

Q 先ほど、若い方とコテ（鎌）を比べながら真剣なお話が続いていたようですが…

西川： 自分の勉強でもなんでもそうだと思しますけれども、コテ等自分の得手の良い道具と悪い道具ってのがありますよね。それを自分なりに工夫して考え続けると、やっぱりこういうものが欲しいな、こういうものがあったらいいなと分かってくる。

人と話しながら「あの人はこういう風にやっとるのか」と、感想をもって自分のオリジナルな考え方も出でますね。自分の時間が空いた時に工夫して自分のものにするっていう。それを他の人に話しかける時に、「これ、俺こういう風にやったよ」って言えることが大切でね。お互いに交流してやっていくことが若者への支援だと思うんです。

Q 左官技能競技大会で優勝、おめでとうございます。お父さんも左官業のことですが、いろんなことを教わったり、見習ったりされたのでしょうか。

西川： 2年前に他界しました。

職人の家だったので、人の出入りがすごく多かったんですよ。幼稚園の頃から自分はいつも父親の横に座って、2時間でも3時間でも正座で人の話を聞くっていうふうでした。仕事っていうよりもね、小さい頃から横に座らされて人の話を聞いて、「人の話を聞けないやつは絶対に人の上には立てやんぞ」って言われていました。

Q 西川さんはお父さんから人としての基本の心構えを教えられたと思うのですが、お子さんに対してはどうですか？

西川： 自分の子どもにあんまり言っても時代が違うって思うけど、でもその要所要所の把握はしていますね。自分の思い込みかも分かりませんけれど、職人の家の子どもだから礼儀が正しいぞって言える子どもに育って欲しいっていうことはあります。

自分が成長していく上で大切なことは、小さなことであっても、人から助けてもらって何とかそれを自分の力にして、それをまた人に与えていくという、お互いギブアンドテイクっていう気持ちを持つことだと思いますね。礼儀って、人として成長するには大事なことだとね。

Q この道に進まれたのはお父さんの影響ですか？

西川： そうですね。でも、中学校出る頃には、車の整備士になるか、左官業かって迷ったけど、自分で勉強して工夫し、流れ作業の時間ではなくて、壁と自分の関係の時間で仕事ができる方が良いかな、と考えて左官業に。それに、この仕事は施主さんが目の前にいてくれますから、高い費用を出した施主さんが満足してくれる仕事はやりがいがあります。小さな成功から次へ次へとどうすればもっと満足してもらえるかな、とかね。父親から『働く』ということを見て育ちましたね。

Q 左官業っていうのは自分と自分との戦いですか？

西川： どんなもんでもそうだと思いますが、自分が学ぼうという時に、自分に気力が無ければ無理ですね。どんなにやかましく言われても、なかなか自分に気がはいらない。ところが思いようでしてね、自分に厳しく、自分がなんとしてもこれをしなければいけないっていう気持ち、そういう気持ちを持つことから仕事への関心が広がります。日本古来の城壁なんかを訪ねたりして、伝統技術が今に在るのを確かめています。

若い子に厳しいこと言うのは、「お前ら絶対これは覚えておいて損せえへんぞ」って内容ですが、若い子には人に認めてもらえるってことも要るのね。自分が認めてもらうってことをかみしめてみることが必要ね。だから、左官屋をやるかやらないか迷った子には「まず精神力を持って人に認めてもらえる仕事を目指すことね。それができた時に、そこから考えればいい」と話します。人に認めてもらえることが<何か>ということを覚えたら、左官だけではなく、どんな職業に就いても、失敗することは無いと思いますね。

Q 若い方へ道具選択の知恵を助言されていたように、西川さんのような職業人としてのモデルから基礎をたたみ込まれることで、さっきの彼自身は少しずつ仕事の成功体験を積み重ねていくのでしょうか。

西川： 社会の中で自分が全うして生きようと思ったら、それは自分なりに努力せんことにはどんな答えも出ないと思うんです。2年でも3年でもいいから、今から自分で成し得る事っていうのをやってみなってね。

左官って仕事は自然の素材を使って、水気が蒸発して固まる原理を応用する作業です。例えば、夏の暑い時の蒸発率と冬の蒸発率が全く違うけど、微妙に日々同じ条件は無いことを前提に自分の肌で感じて考えることが必要ね。毎日それを小さく紐解いていくために気候への精神力と集中力が必要になるのね。

頭で分かっていても、それが仕事に結びつくまでは長い時間がかかります。いろんな社会の中でも色々あると思うのですが、やればやれるんです。自分だけではなかなか上へ上がっていけないので、気持ちのある者が一緒にサポートしあいながら、周りの人のおかげってところが大事なんです。私自身、皆が後押ししてくれて今の自分があるわけですから。周囲とのコミュニケーションが取れさえすればね。

優勝した時にはあんまり実感なかったですね。時間がたって「あ、優勝」。よくよく考えてみると、自分が努力したっていうよりも教えてもらうことばかりで。周りにいてくれた人が支えてくれたから優勝できたのだってね。周りの人に感謝する気持ちが、若い者へ向くのかなあ…。始めから熟練者というのはいないんだから。

(文責：中西 智子)

全日本青少年育成アドバイザー連合会 石垣研究集会に参加して

三重県青少年育成アドバイザー研究会会員

松田 美智子 さん



「青少年育成アドバイザーの社会的貢献を高め、最近の情報をもとに専門的学習をする機会とする」を目標に、2005年1月15日・16日、石垣島にて全日本青少年育成アドバイザー連合会の研究集会が開かれました。

南島詩人平田大一さんの講演は、3年前13名で始めた八重山キッズ“幸せは自分の足元にある、感動の種を植えよう”の活動報告でした。子ども達は自分探しをし、居場所を見つけ生き生きとした活動の様子が実演を通して紹介されました。



基調講演は(社)青少年育成国民会議講師の柿本 勇さんが“いまだきの子育てを考える”と題して、以下の要旨の講演でした。



1 子どもをダメにする要素は、①子どもの成長を待てない（子ども自体が成長するのを待てない、早く早くとせかす）②子どもの気持ちに寄り添えない（子どもを支配することと子ども自体を認めない）③自分が子どもであった時を思いだせない 2 子どもを良くする要素は、①価値の多様な子ども ②友達の多い子ども（現在は仲間関係が崩壊している。昔は学校が楽しかった。）③非常に無計画に生きる子ども（時間に縛られて生きているのが現在の子ども） 3 大人は子どもの友となり、①取締りと対策だけでは子どもは成長しない、人間になるには心を持つ事その教育が必要である。

二日目の分科会は「アドバイザーの資質は、いま」について情報交換と活動の内容報告でした。要点としては、①県の事業に“アドバイザーの派遣”が組み込まれている。②校区に子どもが居る居ないに関係なく子どもの実態調査のアンケートを実施。③地域で各自が講演を引き受けが出来るよう研修に力を入れている。④アドバイザー認定の後も講師を招いて研修に取り組んでいる。今後の課題としては、①青少年を取り巻く現状に关心を持ち自分なりに研修に取り組む。②ニート問題は表面だけ見るのではなく本質を見極める。③中間指導者として（ジュニア、シルバー）の養成が必要。

最後に、全国大会へ始めて参加して痛感したことは、青少年を取り巻く諸問題に時代の流れを把握したアドバイザーとしての資質が問われるということでした。三重県青少年育成アドバイザー研究会の一員として、仲間たちと共に子ども達を見守りたいと考えて帰ってきました。



第27回少年の主張三重県大会作品募集中

「少年の主張三重県大会」は、中学生が日ごろ感じていることや考えていることを広く県民に訴えることにより、青少年が自分の生き方や社会との関わりを考え、また、青少年に対する県民の理解・関心を深めることを目的として実施します。中学生の皆さんへの熱い主張をお待ちしています。青少年育成関係の方は、募集のご協力をお願いします。

●応募資格 県内の国公私立中学校（盲・聾・養護学校中学部を含む）の生徒及び、それに相応する学籍又は年齢にある方。

●応募締切 平成17年6月30日（木）
応募先など詳細につきましてはURLを参照してください。

●大会・審査 平成17年8月28日（日） 13:00～ 松阪市嬉野ふるさと会館 大ホールにて

審査の上、「最優秀賞」（1名）、「優秀賞」（3名）、「優良賞」（9名）を決定し、賞状と副賞を贈呈します。大会出場者以外の地域優秀者は「入賞」とし、賞状を贈呈します。また応募を頂いた学校の中から「学校奨励賞」を決定し、賞状と副賞を贈呈します。

三重県青少年育成県民交流会開催

～「ヤンキー先生」でおなじみの義家弘介さん来る！～

三重県総合文化センターで開催される「M祭！2005」の1イベントとして、県内各地区における青少年育成の取り組みを広く県民にお知らせするとともに、実践発表や交流を行うことによって優れた実践から学びあうことを趣旨に開催します。

●開催日 平成17年8月7日（日） 三重県総合文化センター 中ホール他

●当日スケジュール

10：00 第1部 三重県青少年育成実践発表会（中ホール）
　　・松阪市青少年育成市民会議嬉野支部 事例報告
12：00 　　・鵜殿村青少年健全育成村民会議 事例報告
　　・鈴鹿市青少年育成市民会議
　　朗読劇「聞こえますか？わたしたちの声」

12：15 第2部 三重県青少年育成市町村民会議連絡会（中会議室）
　　※関係者のみの参加となります。

13：30 第3部 特別講演会「ヤンキー、新たなる挑戦！」義家弘介さん（中ホール）
　　※整理券が必要です。青少年育成関係団体へは整理券を配付予定です。一般の方は、往復はがきにてMAPみえこどもの城までお申込ください（先着順）。詳細はチラシまたはホームページをご覧ください。

※未就学のお子様はご遠慮ください。発表・講演中の入退場はできるだけお控えください。



《お問い合わせ先》

財三重こどもわきもの育成財団（MAPみえこどもの城）青少年育成グループ

〒515-0054 三重県松阪市立野町1291 中部台運動公園内

TEL 0598-22-4911 FAX 0598-23-7792 URL <http://www.mie-cc.or.jp/ikuseihp/>

『MAPみえこどもの城』 インフォメーション

◆大型ドーム映画



(c)Tezuka Productions.配給：株式会社さらい

日本初公開！『ASTRO BOY 鉄腕アトム』

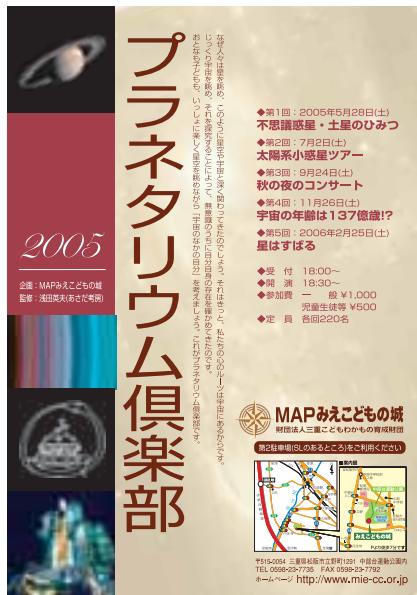
2005年、ついにジャイアントスクリーンに登場！

7/16(土)～11/30(水)

アトムたちを乗せ、タイタンへ向かったガリレオ2世たちは、初の宇宙旅行に胸をおどらせていた。ところが、誰もいないはずのタイタンから突然、攻撃が…。人間を減らし、ロボットの世界をつくろうとしている組織イグザのしわざであった。次々と襲いかかる危機に、アトムは美女ユナたちと力を合わせてイグザに立ち向かう！

◆上映時間等はホームページでご確認ください

◆プラネタリウム



◆第1回：2005年6月23日(土)
不思議惑星・土星のひみつ

◆第2回：7月2日(土)
太陽系小惑星ツアーア

◆第3回：9月24日(土)
秋の夜のコンサート

◆第4回：11月26日(土)
宇宙の年齢は137億歳！?

◆第5回：2006年2月25日(土)
星はすばる

◆受付 18:00～

◆開演 18:30～

◆参加費 一般 ¥1,000
児童生徒等 ¥500

◆定員 各回220名

喫煙防止啓発紙しばい

貸し出します！（無料）

三重県では、ビデオ、紙芝居を貸し出しております。学校、保育所、子ども会などでご活用いただけますようお願いします。（個人も可）

*貸出品のリストは次のホームページで確認ください。

<http://walk.to/hpm21>

ご希望の方は、電話、FAX、メールのいずれかの方法でお申込ください。その際は、①お名前②ご住所③電話番号④FAX番号⑤貸出を希望される物品の貸出番号・題名⑥返却予定日⑦受渡方法を健康づくり室宛てにご連絡ください。



●三重県健康福祉部健康づくり室

〒514-8570 三重県津市広明町13番地
TEL : 059-224-2294 FAX : 059-224-2340
E-Mail : kenkot@pref.mie.jp

子育て支援センター はっぴいはっぴい

子育てについて一人で悩んでいませんか？ はっぴい はっぴい にきて、親子共にリフレッシュしませんか？ 気軽に遊びに来てくださいね！
(小学生未満の親子対象)

TEL : 0598-26-6200
(プライバシーは厳守します)



※館外のログハウスです！
※遊具もいっぱい！

開館時間

■午前9:30～午後5:00

休館日

■月曜日（祝日の場合を除く）・祝日の翌日

団体のご利用について

■幼稚園、保育園、学校等での園外活動・校外学習や子ども会でのレクリエーション等にご活用ください。

※団体でお嬉しい場合は、2週間前までにお申し込みが必要です。

交通のご案内

■電車・バス利用

JR、近鉄松阪駅下車、三交百貨店前バス乗り場⑪⑫⑬⑭番系統のバスに乗車、「中部中学校前」下車、徒歩12分

●バスのお問い合わせ
三重交通 松阪営業所 0598-51-5240

■車利用

伊勢自動車道松阪インターを出て、最初の信号を右折。この道に沿って南へ約4km進み、国道166号線丹生寺交差点を左折して約1.7km、3つ目の信号を右へ。中部台運動公園の駐車場をご利用ください。
(駐車料金無料) ※駐車場からMAPみえこどもの城までは徒歩7分程かかりますので、天候の具合により雨具の準備をお願いします。



三重県立 みえこどもの城

〒515-0054

三重県松阪市立野町1291 中部台運動公園内

tel:0598-23-7735 fax:0598-23-7792

●ホームページ <http://www.mie-cc.or.jp>

編 集 後 記

現代では何故か、大人も子どもも「早く」がキーワードになったように、気ぜわしい日々を過ごしているように思えます。4月6日、鳥羽市の神島へ取材に行き、知り合った1年生から6年生の5人組が神島を案内してくれました。八代神社、灯台、監的所、学校裏の古里の浜です。おしゃべりの合間に草花の蜜を吸ったり、草笛を工夫したり、「かくれんぼ」をしたり、犬や猫や亀を相手にしたり、泣いている幼児の世話をしたり、浜辺では砂遊びです。約3時間半の楽しい交流でした。異年齢で子ども達が群れて遊ぶ姿に子ども本来的好奇心・探究心を見せてもらった気がしました。いつの時代でも親の気持ちとしては、勉強が出来て、社会性を身につけて、基本的な人格が育成された子どもに育ってほしいと願うものです。その為には、大人に教えてもらわなくても、自分の力で育つ力と子どもペースの時間が前提だと思いました。

『わかすぎ』編集長 中西智子

